

平成30年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～	
	施策	27 公共交通 ー安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めますー	
重点プロジェクト			
主管課	都市政策部 都市計画課	評価責任者	櫻井 進一
		評価日	令和元年5月21日
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、子育て支援課		
目標	より安全で便利な公共交通機関となるよう改善を進めるとともに、利用しやすい公共交通ネットワークの整備を進めます。		
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 民間の公共交通機関との連携 ○東武鉄道や民間路線バス事業者に対し「東武東上線改善対策協議会」や「ふじみ野市地域公共交通活性化協議会」などを通じて、利便性の向上、駅・踏切施設の改善、バス停留所の安全対策などの要望を行います。</p> <p>(2) 交通結節点の機能強化 ○市内公共交通の利便性をより高めるため、上福岡駅東口の駅前整備を進めます。</p> <p>(3) 市内循環ワゴンの充実 ○より便利で持続可能な市内循環ワゴンを目指し、市民のニーズを把握した上で、必要に応じ運行ルートやダイヤの見直しなどを行います。</p>		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標1	指標名	市内循環ワゴン乗客数					
		説明	公共交通空白・不便地域の解消、高齢者などの移動手段の確保、外出意欲の高揚、市民の移動利便性の向上を図るために市内循環ワゴンを運営しており、結果として総乗客数が増加し、目標を達成した。					
	単位	人						
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	41,579	42,956	44,333	45,710	47,088	48,465	
	実績値	86,101						
	指標2	指標名	市内循環ワゴン利用者の満足度					
		説明	公共交通として、利用者満足度向上を図る。※令和元年度に一般者に向けてアンケート実施を検討中。					
	単位	%						
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	98.80	99.00	99.30	99.50	99.80	100.00	
	実績値	-						
	指標3	指標名						
		説明						
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
	指標4	指標名						
		説明						
単位								
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値								
実績値								
指標5	指標名							
	説明							
単位								
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値								
実績値								

3. 施策への投入コスト

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	48,368	57,910				
	人件費	9,715	9,715				
収入	特定財源	0	0				
	一般財源	58,083	67,625				

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	市内循環ワゴン運行ダイヤの改正の検討及び、有料広告掲載者の募集	本格運行開始から2年目を向かえ、運行ダイヤ改正の必要性について、ふじみ野市地域公共交通活性化協議会において協議した。また、ふじみん号への有料広告掲載者を市ホームページを活用し募集した。	運行ダイヤ改正については協議の結果、実施しないこととなった。なお、交通事情による遅延で乗り継ぎが出来ない事例が発生したが、運転手同士での連絡調整を行い、待合環境が改善された。また、ふじみん号へ有料広告を掲載したことにより運行に係る収入確保につながった。	市内循環ワゴン運行事業
取組②				
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	市内循環ワゴンの総乗客数については、増加しており目標値を上回る結果となった。今後においても更なる利用者数の拡大による公費負担の減少を目指すとともに待合環境の改善などを実施し、より利用しやすい公共交通となるように努める。また、アンケートを実施し、ニーズの把握に努めるとともに、必要に応じて運行ルートやダイヤの改正について検討していく必要がある。経営面については、引き続き、ふじみん号への有料広告掲載者を市ホームページを活用して募集し、運行経費に係る収入の確保に努める。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
有効	
施策の成果	
効果が得られている	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	市内循環ワゴン運行事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	27 公共交通 ー安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めますー		
予算費目	一般会計 08土木費 01土木管理費 02交通安全対策費			
所管部課	都市政策部 都市計画課	評価責任者	小川 尊志	
事務事業期間		評価日	平成31年4月8日	
個別計画 根拠法令・条例等	道路運送法・活性化再生法			
事務事業の内容	事務事業の目的	市内循環ワゴンの運行により、公共交通空白・不便地域の解消、高齢者などの移動手段の確保、外出意欲の高揚、市民の移動利便性の向上を図る。		
	事務事業の経緯	旧大井町で平成14年10月から運行を開始し、合併協議で事業を継続した上で、平成22年7月1日から路線とダイヤを見直し、全市域で運行を開始した。 平成24年度は路線とダイヤを見直すため、アンケート調査を実施した。 平成28年度は路線とダイヤを見直し、バスをワゴンタイプへ変更し実証運行を実施した。		
	事務事業の概要	公共交通空白・不便地域の解消、高齢者などの移動手段の確保、外出意欲の高揚、市民の移動利便性の向上を図るため、市内循環ワゴンの運行を実施する。		
	平成30年度の主な取組	本格運行開始から2年目を向かえ、運行ダイヤ改正の必要性について、ふじみ野市地域公共交通活性化協議会において協議した。 また、ふじみん号へ有料広告掲載者を市ホームページを活用し募集し、収入源の確保を図った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	1.20	1.20
		人件費	5,699	9,715	9,715
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計		5,699	9,715	9,715	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	17	
	委託料	3,872	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	51,706	48,368	57,880	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	0	0	13	
支出合計		61,276	58,083	67,625	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		61,276	58,083	67,625	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		538	509	588	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市内循環ワゴンの延べ乗客数		
	説明	公共交通空白・不便地域の解消、高齢者などの移動手段の確保、外出意欲の高揚、市民の移動利便性の向上を図るため、市内循環ワゴンを運営している。		
活動	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	48,465	48,465	48,465
	実績値	69,617	86,101	
指標 2	指標名	利用者の満足度		
	説明	公共交通として、利用者満足度向上を図る。 ※平成30年度はアンケートを実施していないが、平成31年度に一般者に向けて、アンケート実施を検討中。		
活動	単位	%		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	98.50	98.80	99.00
	実績値	59.50	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>本格運行開始から2年目を向かえ、運行ダイヤ改正の必要性について、ふじみ野市地域公共交通活性化協議会において、協議した結果、現段階では実施しないこととなった。</p> <p>しかしながら、交通事情による遅延で乗り継ぎができない事例があったため、運転手同士での連絡調整を行ったことにより、待合環境が改善された。</p> <p>また、ふじみん号へ有料広告掲載者を市ホームページを活用し募集した結果、1社から申請があり、実施したことにより収入源を確保した。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	今後においても更なる利用者数の拡大による公費負担の減少を目指すとともに待合環境の改善などを協議し、より利用しやすい公共交通となるようにする。
中長期的方向性	
継続	